

水痘ワクチン

【水痘（みずぼうそう）について】水痘は水痘―帯状疱疹ウイルス（以下VZV）の初感染でおこります。直接接触、飛沫感染、空気感染によって広まります。ワクチンを接種しない場合5歳までに80%がかかるといわれています。

主な症状は発熱と発疹です。発疹は赤い丘疹→水疱→膿疱→痂皮（かさぶた）と移行します。発熱は通常38度前後が2～3日続きますが、時に高熱となります。治療に抗ウイルス薬を使用することができます。

健康な小児では一週間程度で治癒しますが、まれに脳炎、肺炎、肝機能異常、皮膚からの細菌感染を合併することがあります。成人では小児より重症化しやすく、免疫力の低下する疾患（悪性腫瘍や免疫不全）の方が感染すると特に重篤になり死亡する場合があります。

妊婦が出産前5日～出産後2日に発症すると出生した児が重症の水痘になります。

また妊娠早期の母体の感染によって胎児が先天性水痘症候群を発症する可能性があります。

VZVは水痘が治癒した後も体内に潜伏し過労などの際に再活性化して帯状疱疹を発症することがあります。

【水痘ワクチンについて】

水痘ワクチンはVZVを弱毒化してつくられた生ワクチンです。

水痘の発症を予防し、発症した場合でも重症化を防ぐ効果があります。

平成26年10月から定期接種になりました。

1回の水痘ワクチンにより90%以上の人に抗体ができます。

1回の接種ではのちに約20%の人が水痘にかかるため、2回目の接種を行い十分な免疫をつけることがすすめられます。副反応はほとんどありませんが、時に発熱や発疹、局所の発赤や腫れなどがみられます。

【接種方法】 ワクチン0.5mlを皮下に接種します。

【定期接種できる期間】 生後12カ月から36カ月に至るまで（1歳～3歳未満）

【スケジュール】 3カ月以上の間隔をあけて2回接種します。

標準的には生後12～15カ月時に1回目を接種し、

6～12カ月の間隔をおいて2回目を接種します。

【接種費用】 無料（23区内の予防接種予診票を持参し、記載された有効期限内であれば公費負担）

ただし23区内の予診票を持参しないで接種 対象年齢を超えての接種

指定医療機関以外での接種 規定の回数を超えての接種 是有料

【持参するもの】 予防接種予診票（体温以外の項目をあらかじめ記入しておいてください。）

母子健康手帳